



里の秋絵 一題

＝コスモス畑と蕎麦畠＝



Vol.4

平成二十年十月号
【発行】箱庭の里
奥嶋の集い

朝夕はすっかり秋の様子が漂つてきました。今年はいつもと違う風景に気付かれたでしょうか。

蕎麦畠が真っ白に

8月末に撒いた蕎麦の実。その成長力は驚くばかり。9月中旬から花が咲き始め、10月には真っ白な絨毯を敷き詰めた様になりました。今は花も枯れ落ち、実が付きはじめて来ました。心配していたイノシシの被害は周辺の畠沿いにはいくつも足跡があるものの、蕎麦には被害が及んでいません。「イノシシも実がなるのを待っているのと違うか?」と言ふ意見もありますが・・・。子供たちも交えての刈り取りは十一月十四日(日)を予定しています。勿論刈り取った実は暫く乾燥させて、年末には蕎麦打ち体験と試食会で、一足早い年越し蕎麦をいただぐ予定です。

『この地で育つたものを、住民が一同に会して食する』これも地産地消の第一步です。

今後の予定については、後日ご報告させていただきます。



播種後1週間で双葉が芽生える



10月初旬には一面真っ白に



すずらんにも似た可憐な蕎麦の花



朝日を浴びる蕎麦の実

山からの風

前号でも触れたように、島町内から見て「青龍」(東)の方角に位置する白王山(羊が放牧されていた東山田の後方の山)は、山頂がぼっかり窪んでいて、そこには神秘的な池がひっそりと佇んでいます。一説によると、永源寺木地師の祖とも言われる惟喬親王がここに隠れ住んでいたこともあるとか。確かに、「秘密の隠れ家」としては恰好の場所。ちなみにこの山、昔はマツタケがすごくたくさん採れたそうです。



雨上がりの山頂池は抜群の癒し空間!
ただし、見に行く時はマムシにご注意



三色の色鮮やかに清々しいコスモス



島町ならではの景色

北山田コスモス満開
7月の播種作業から2ヶ月半。北山田を望む景観に新たなページが付け加えられました。1反程に撒かれたコスモスは、赤・白・ピンクの鮮やかな色をつけ、今、満開の時期に来てます。若宮神社横の道から眺めるのが一番ですが、少し斜めから権現さんをバックに、青空の中に咲くコスモスもまた格別です。あと数日が見頃です。是非足を運んでください。
そして、コスモスには殆ど雑草が茂っていないことが判明。放置することの悪影響を改めて知らされました。双方とも休耕田の有効利用から始まつた小さな取り組みですが、次に繋げて行けるようになればと考えています。